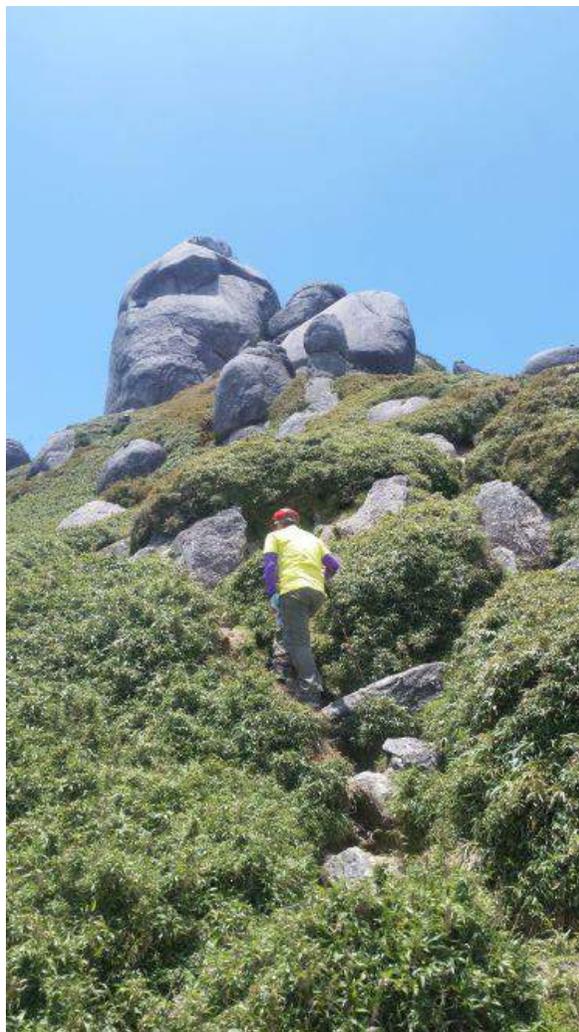


# 県連ニュース

2020年 6月号 NO-515



『宮之浦岳』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2020年 6月号 目次

リレーエッセイ .....	2
寄稿 安全について .....	3
お知らせ 『ステップアップ比良5月会』中止 .....	4
報告 第2回理事会中止と県連の動向 .....	5
第48回清掃登山中止決定について .....	8
ぐうたら会長のつぶやき .....	9
予 定 表 .....	11

表紙の写真：『宮之浦岳』

撮影者 湖南岳友会 蒲生 泉 2016.6.6

## 山のいで湯の愉悅

湖南岳友会 渡壁由美子

山登りをする人の多くは温泉好きです、露天風呂ならなおの事、ともあれ日本は世界一の温泉好きの温泉大国です。中国や韓国でも、ヨーロッパやアメリカ、それに南極にも天然温泉はあると言う

日本には古代から温泉は神の湯！身のお清めや傷を癒すためのものだった、その後仏教伝来後も沐浴とする修行がある、まさに日本人温泉信仰の歴史は長くて深い、もはや日本人の温泉好きはもう一つの文化でしょうね。それに有り難い事に多くの登山ツアーには下山後入湯プランが組まれています。

私のお気に入りの秘境露天温泉を紹介します、ご存知の方も多いかと思います、白山岩間温泉元湯、沢山ある白山登山道、岩間道の山崎旅館から入口ゲートに入り1時間位歩くと、途中に露天風呂があります。脱衣所等なく大きな穴だけのまさに野天湯、混浴なので女性には水着かTシャツが必要かもね、湯温は50度位ありそうで傍にゴムホースがあるので水を入れて適温にする、

『極楽・極楽』 猿か熊が出て来て一緒に浸かれば最高、でも怖い(\*\_\*;

この近くに避難小屋があり割ときれいなトイレもあり一泊お借りする、白山登山前後に一夜をお借りするのが私の常道です。ここから険しい山道を45分位行くと岩間の噴泉塔群（特別天然記念物）があり自分の手掘りの温泉が作れます、遊び心のひと時です。久しく行けてません、どうかこの憩いの場が自然のままに残っていますように願います。



会長 友永芳和

事故がおこってしまいましたので、皆さんへの注意喚起を含めて、何回かに分けて安全について述べてみたいと思います。

### ○『安全性』とは『危険性』を知ること

山登りが自然を相手にしている以上、季節、天候、気温、地形、体調、その他様々な要素の変化や組み合わせによって、『危険性』は、当然あると考えられます。

では、この『危険性』は避けられないものでしょうか？ そうではなく、ほとんどが十分に避けることができるものであり、それらひとつひとつの『危険性』を回避したり、とり除いたりしながら登るところが、登山の大きな魅力のひとつだと言えます。言い換えれば『安全性』とは『危険性』を知ること、そしてその危険性にどう対応するか、という手立てを考え実践していくと言う事になります。では、誰が考え実践していくのでしょうか？ あなたの周囲の人たちや、あなたが入っている山岳会や、その上部団体が、あなただけの安全性について考えてくれるわけではありません。危険性を認識し、それに対応する手立てを考え実践するのは、あなた自身以外にありません。「大丈夫ですよ」と、誰かがあなたに安全を保障するような事を言ったとしても、何のたしにもなりません。自分の安全は自分で保障するのです。待っていても誰も助けてはくれません。

誰に強制されたわけでもなく、自らの要求と判断と責任において山に登り、素晴らしい自然に触れたいはずなのに、安全だけは他人まかせと言うのはおかしい事だと思いませんか。山岳会に入って会費を払っているからと言っても、『安全』と言うのは、お金で買えるものでも、誰かが与えてくれるものでもありません。自分自身が事故や遭難の恐ろしさ、バカバカしさに対する認識と、万一起こした時に対応する方法や、山での自己責任を学ぶ事、そして常に余裕を持って、登山を行っていく事によって、一つずつつくり上げられていくものだと思います。

※次は「山登りに必要な体力について」です。

## 『個人山行ステップアップ比良からのお知らせ』

新型コロナウイルスによる自粛要請で山に行けない日々が続いています。

先にお知らせしました『ステップアップ比良』も、その為4月の予定を残念ながら中止にしましたが5月も未だ全国的に自粛要請が発令中である事から中止とします。

6月13日(土)予定のホッケ山南東尾根直登から実施したいと思いますので宜しくお願いします。

[toyoda@eos.ocn.ne.jp](mailto:toyoda@eos.ocn.ne.jp) 滋賀山友会 豊田永

# 5/13 予定の 2020 年度第 2 回理事会 中止

## 報告のみ

### 1. 清掃登山の中止に至るまでの経過報告

1. 3/24 自治体関係者に「依頼お願い」発送の件を電話連絡する。年度末でもあり、新型コロナウイルス流行で煩雑な時期でもあるので、今年度「首長メッセージ」の省略の了解を得る。
2. 3月末に各自治体への依頼等を発送。
3. 各会のコース決定等を 4/8（第一回理事会）までにと各会へお願い。  
4/8 チラシを確定する段取りで準備を進めていた。4/8 理事会中止調整していく中で、
4. 綾野山歩会の日程が 5/30 土と発覚、チラシの変更。
5. 好日山荘から売り上げ減のため、(新型コロナウイルスの影響) 広告料の見合わせが友永会長に入る。
6. 4月に入り、綾野山歩会が「6月末までの行事の中止決定」 チラシからの削除要請。
7. 岳友会からも例会山行を6月末まで中止する連絡。6/7 の多賀町「高室山」中止  
4/14 多賀町金田氏にメール連絡
8. 各会に連絡  
全国連盟に問い合わせる、地域差があるので地方連盟の判断という連絡。
  - ・シャクナゲ 会員山行に近いので実施予定 (高島市・寒風山)
  - ・彷徨倶楽部 会員山行として実施予定→4/17 竜王町広報から掲載の件連絡があり、中止を要請され、会として中止を決定。4/18 竜王町担当者澤井氏にメール連絡→20 日 文書不要との電話連絡有り。(竜王町・雪野山)
  - ・ちごゆり 会員山行として実施予定→4/15 中止するとの連絡。4/16 高島市マキノ支所松本氏にメール連絡。取り下げ処理済み。(高島市・岳山)
  - ・山友会 4/12 運営委員会で 7 月末までの例会山行中止  
4/14 メール連絡 伊吹山 (米原市)  
日本コバ (東近江市→要文書提出 4/20 発送)  
4/14 近江湖南アルプス協議会事務局山元氏に電話連絡、文書 4/20 発送  
年度内実施であれば、予算計上しているので支援金出しますと。
  - ・雪稜会 連休明けに結論出す→5/7 西村会長から連絡。  
5/7 5 月末までの緊急事態宣言延長、県からの登山を控える呼びかけ(事

故が多発している状況)等 山行は自粛せざるを得ない状況なので、清掃登山も会員だけとしても残念ながら中止せざるを得ないと判断。

5/7 県連として 最終結論「第48回清掃登山」の中止を決定する。

4/19 現段階では、正式には「第48回清掃登山」中止決定していないので、

- ・滋賀県
- ・滋賀県教育委員会スポーツ課(書類不備・緊急対応について、リーダーの手引きの添付必要)
- ・大津市(後援回答あり)
- ・滋賀環境事業公社は、4件は未連絡 連休明けに連絡することに。

5/7 県連として、「第48回清掃登山」の中止連絡を理事・各会にメール

5/10	後援名義	滋賀県自然環境保全課(森)	5/10	メール	5/12	返信メール
	後援名義	大津市公園緑地課(松村)	5/10	メール	5/11	返信メール
	後援名義	滋賀県スポーツ部スポーツ課(教育委員会後援名義)(泉)				
			5/12	電話連絡		文書提出必要
	協賛	甲賀市 飯道山 寺尾	5/12	電話連絡		文書提出必要
	協賛	公益財団法人 滋賀県環境事業社 事務局 井上	5/10	メール		
	協賛	びわこテクテククラブ 星	連絡有り	5/8	野洲へ連絡。	
			5/12	メール		

新型コロナウイルス感染が終息し、状況次第では、「秋の清掃登山」として実施したと思っています。

協賛金の関係では、

多賀町 鈴鹿・高室山 打診済

近江湖南アルプス自然休養村運営管理協議会 湖南アルプス・天狗岳 年度内であれば支援

米原市 伊吹山 現段階では連絡していない

竜王町・雪野山 現段階では連絡していない

公益財団法人 滋賀県環境事業公社 現段階では確認していない

改めて仕切りなおすということで考えています。後援名義等は申請しません。毎年の行事として実施しているので、中止ではなく、延期して出来るものなら秋に実施を検討するというスタンスです。各会と相談する必要があります。

## 2.各部報告

組織 4月末の会員数動向 ( /207 連盟届け 2019.11 末会員数)						
山友会	岳友会	雪稜会	彷徨	ちごゆり	ツツガ	2020.4/2020.3
66/69	43/43	45/45	10 /10	17 /17	5/5	186 /189
(33+33)	(24+19)	(26+19)	(6+4)	(9+8)	(3+2)	

## 4.その他 覚え書き

- 来年度の総会日程 2021.3.7 or 2021.3.14
- 安全対策基金の申請 決算書報告必要 申請済み
- 全国基金担当者会議 (6/20~21・全国連盟事務所) Web 会議検討中
- 労山創立 60 周年記念行事(6/21・東京) 秋に延期で調整中

次回 第 3 回理事会 6/3 水曜日 19:00~20:30 予定

## <報告> 「第48回清掃登山」中止決定について

新型コロナウイルス禍が終息する希望が見え始めたと感じているのですが、緊急事態宣言が5月末まで延長されましたので、まだまだ油断できない状態です。

会員のみなさまには、正式な連絡が大変遅くなりました。

各会から中止連絡等あり、山域の自治体には、個別に中止連絡はさせていただきました。

県連としての最終結論は、連休明けとしていちの望みを託していたのですが、

5/7 比良雪稜会西村会長から

- ・ 4/20 労山他山岳四団体による登山自粛声明が出された事。
- ・ 5/3 滋賀県連友永会長からの会員の事故報告及び登山自粛メッセージが出された事
- ・ 5/4 全国に対する 緊急事態宣言が 5/末まで延長された事
- ・ 5/4 滋賀県では登山者の遭難が相次いでいて(緊急事態宣言が出されてから2日までの17日間に、10人が遭難し4人が死亡)、「山で遭難し、けがをすれば、新型コロナウイルス対応でひっ迫している医療機関にも影響しかねず、ぜひ自粛してほしい」と、県は事態が収束するまで登山を控えるよう呼びかけている等、山行は自粛せざるを得ない状況なので、清掃登山を会員だけとしても残念ながら中止せざるを得ないと判断した。と連絡がありました。

傘下の全会中止ということで、「第48回清掃登山」を中止することにしました。(5/7)

終息した時期を見て、出来れば「秋の清掃登山」実施を検討したいと思っています。すでに、岳友会は、「鈴鹿・高室山」の清掃登山を検討して、多賀町に交渉されています。近江湖南アルプス自然休養林管理運営協議会様(「近江湖南アルプス・天狗岩」)は、予算計上しているので、年度内であれば支援しますと言われていています。今後の状況をみながら、会員みなさまのご支援とご協力で、柔軟な対応で乗り切りたいと思っています。

今までの日常生活がいかに大事であったことかと考える毎日です。

普段どおりに山へ行ける日常が戻ってくることを願わずにはられません。

新型コロナウイルスに負けないように、体調管理に気をつけてください。

山でお会いできる日を楽しみにしています。

清掃登山事務局長 宮内 眞子

## ぐうたら会長のつぶやき

残念な事に湖南アルプスで死亡事故が起きました。道を間違っただけで引返さずに進み続けてガレ場から滑落したようです。計画書も提出しておらずコースもメンバーも最初は判らず捜索は難航しました。コロナで警察や消防署、病院は大変な時期です。この時期に遭難すると無用の負担を掛けてしまいます。山に登られる時は、計画書を会に提出してください。もちろん提出したからと言って事故が起きないわけではありません。くれぐれも慎重な行動をしていただきたいと思います。道を間違ったら元の場所まで引き返すのは基本です。パーティもバラバラにならないようにして、もしバラバラになったら遅れた人を必ず分岐で待って合流してください。遅れたので追いつこうとして、分岐を見逃して進んでしまったのかも知れません。

比良の沢、第 7.8 弾です。

No430 87-7 ヘク谷(比良の沢) 1987年7月2日 晴

(コースタイム)下坂下 9:25—9:30 ヘク谷出合 9:35—11:25 植林小屋 11:35—12:25 小女郎池 12:50—13:35 薬師滝—13:40 林道終点—14:15 蓬莱駅

(報告)

下坂下バス停より僅か3分で取付きに着く。釣り人が一人いた。しばらくはゴーロ状の流れに幾つかの小滝がかかる。2条 10m ほどの滝をシャワーで抜けた。再び小滝が続く。10m ナメ状の滝、6m の直瀑と越えてすぐ、大岩のある8m の滝を巻いて越える。ポツポツと小滝が続き2条 10m の滝。念のためザックを置いてシャワークライムで越す。少し行くと 15m の滝。これも直登で越える。すぐに 20m ほどの滝。これは右を高巻く。連続した小滝を越える。一つだけしぶいへつりあり。ここも空荷で越えた。深い緑の流れから伐採跡に出ると明るい谷となる。時折り現れる小滝を水と戯れつつ越えて行く。伐採跡より再び林となり、ササが現れると流れも消える。良く踏まれた道を辿ると小女郎池に出た。楽しく涼しい一日だった。

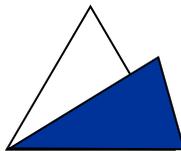
No431 87-8 シシ谷(比良の沢) 1987年7月10日 晴

(コースタイム)村井 8:45—8:55 シシ谷出合—9:20 取付の堰堤 9:30—11:00 ヒジキ谷出合 11:10—(本谷廻り)—11:55 ヒジキ谷出合—12:25 ヒジキ滝 12:35—13:15 水切 13:25—13:45 縦走路—14:05 地蔵山 14:15—15:00 畑

(報告)

鮎釣りのオジサンと話しつつ村井下車。10分ほどでシシ谷出合。右岸の林道に行く。思ったより細かい流れ、晴天続きで水量は少な目か。林道は思ったより長く続き、終点より少し藪分けして2段の堰堤の上から谷に入る。すぐにゴルジュ。流木が多く小滝群を苦勞して越す。小ゴルジュを越すと再びゴルジュ群。ここは深い。二つほど泳ぎで越す。しぶいトラバースがあり。ここは今の自分のほぼ限界に近いトラバースだ。後は特に悪場もなくヒジキ谷出合に着く。もともと出合とは気付かず本谷をいき、三つほど滝を越えると水量が減り源流帯となって気付く。出合まで戻るが、行きは良い良い帰りは恐いで、滝が下れず大きく巻いてヒジキ谷出合に着いた。ヒジキ谷の兩岸は岩壁。小滝を幾つも越えて30分も行くと20mほどの滝に出る。多分これがヒジキ滝と休憩。水量は少ないが手強そう。もちろん高巻きで越える。上部は源流帯となり藪が酷くなる。水が切れた所で沢から出て靴に履き替える。後は踏み跡らしきものを辿って稜線に出る。水量が少なく、好天と好条件に恵まれて遡行出来ました。後少し水量が多かったらどうだったか？ 縦走路を地蔵峠までたどり畑へ下山した。





2020年7月号の原稿は、6月15日〆切です。

原稿の投稿先は [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp) まで、用紙サイズは **B5**、  
フォントは本文 **10.5~11**、タイトル **12~14**、余白は上下左右 **19mm**とし、  
使用する写真は **200KB 以内**としてください。

皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース 6月号」 No.515

発行日：2020年5月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子